

抗血栓薬服用者に対する胃病変のESD/EMRの安全性評価検討

(後ろ向き研究)

1. 研究の対象

2012年1月から2017年3月に当院で胃病変（ポリープ、早期胃癌など）の内視鏡治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

当院で2012年1月から2017年3月までの期間に胃病変に対して内視鏡治療を施行した783症例888病変のデータをカルテから収集して比較や解析を行い、後出血や穿孔などの偶発症をきたす危険因子を探索します。特に、抗血栓薬内服されていた患者さんにおける胃病変に対する内視鏡治療の現状を検討し、それらの出血や塞栓症状などの偶発症の発生割合を調べ、後出血・梗塞のリスクやその背景因子を後ろ向き検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

カルテ情報：病歴、性別、生年月、既往歴、抗血栓薬内服の有無、抗血栓薬をされている場合は内服薬の名称や治療前の休薬の有無/ヘパリン置換の有無、内視鏡所見（病変の形態・大きさ・部位・切除後潰瘍の状態）、治療後経過（後出血の有無・偶発症の有無）、採血データ（血液生化学検査：TP、Alb、T-Bil、ALP、AST、ALT、BUN、Cre、LDH、CRP、FBS、PT、APTT、腫瘍マーカー：CEA、CA19-9）、尿検査、画像検査（CT、上下部消化管内視鏡、腹部超音波検査、超音波内視鏡検査）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料、研究結果を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪府大阪狭山市大野東377-2

近畿大学医学部附属病院 消化器内科 医学部講師 永井 知行

電話：072-366-0221 内線番号：6871